

2023年8月28日

トヨタ紡織株式会社

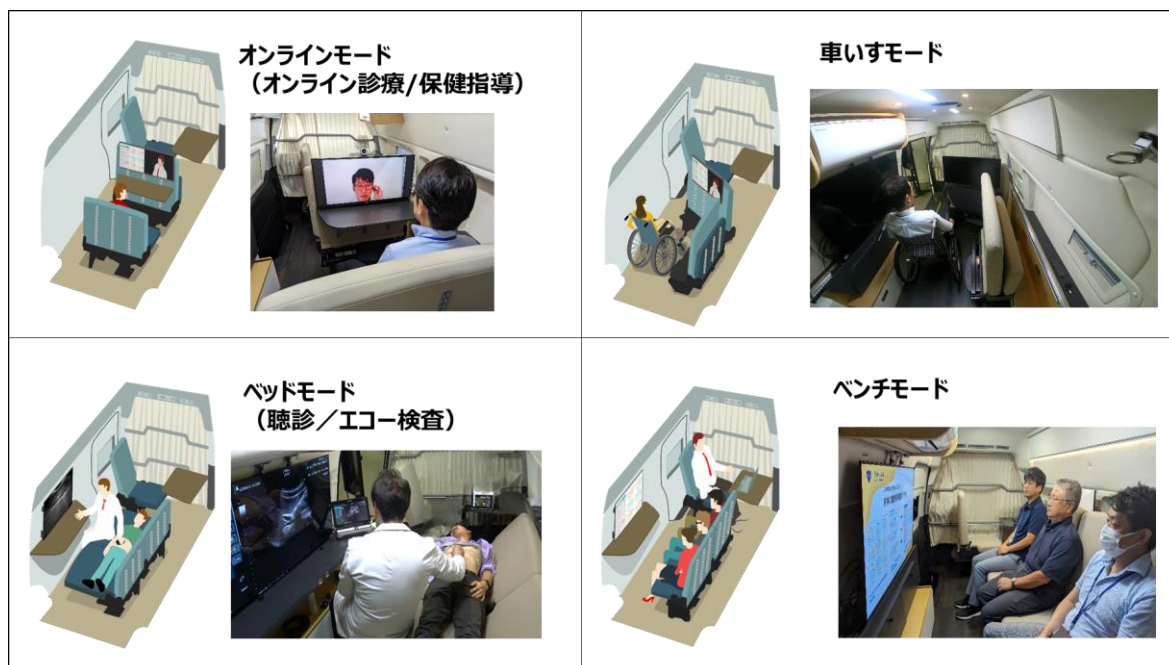
トヨタ紡織、1台で多様な医療サービスをサポートできる 車室空間を提供、実証実験を開始

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：白柳正義）は、医療分野のさまざまな課題への解決策の一つの提案として、シートなどレイアウトを自在にアレンジできる車室空間を提供し、医療サービスに活用する実証実験を株式会社 M-aid と共同で行います。

これまで、当社では M-a-a-S に対応する車室空間の提案を進めており、テイラードスペースシステム（シートや内装アイテムの脱着交換機能）などの開発を行ってきました。今回は、その技術を活用して、名古屋を拠点とする医療系 IT 企業の株式会社 M-aid と医療現場でのサービス空間の検討を行いました。

医療現場で使用されている車両は、移送用、検診用など、車両ごとに用途が限定されています。今回の車両は、大型ワンボックスカーを使用し、シートなどをアレンジすることで、ニーズにあわせた、さまざまな医療サービスが提供できる車室空間となっています。これによりサービス提供者は、どんな場所でも 1 台で様々なニーズに対応した医療サービスの提供が可能となり、医療アクセスの向上にもつながることが期待されます。

今回の実証実験は、株式会社 M-aid が実施する愛知県内の健康診断会場で、オンライン保健指導のサービスを活用して行います。また今後は、医療サービス空間の提供だけでなく、行政サービスや移動販売サービス、エンターテイメント空間など、自在にアレンジできる車室空間の活用を広げていきます。



以上